

夏休み企画 日詰明男展

さりょう  
星ぼっくり茶寮

冷たい数学とおもいきや、さにあらず。



HIZUME AKIO EXHIBITION  
HIZUME AKIO EXHIBITION

KYOTO ART CENTER AUGUST.1st-30th.2008

Photo:Akihiko Iimura

新月から新月まで、月が一巡りするまでの展覧会。

造形作家である日詰明男はこれまで一貫して、自然の中にさまざまなかたちで存在する幾何学的な構造を応用した作品づくりに取り組んできました。幾何学というレンズを通して世界をとらえ、現代の私たちの生活や社会のあり方に対するまったく新しい雛形を提示します。

その構想は、音楽、照明、空間設計、さらには数百年後の未来の都市計画へと大きな広がりを見せます。

作家とともに、またそこに居合わせた人々とともに、おおきな時間の流れと空間を共有しませんか？

この夏、京都芸術センターへ何度でも足をお運びください。

京都芸術センター ギャラリー北・ギャラリー南 ほか

2008年8月1日(金)～8月30日(土) 10時～20時 入場無料

主催：京都芸術センター 

協力：art space kimura ASK?、龍谷大学理工学部四ッ谷研究室、京葉レゾナンス 、LCC corporation、大阪成蹊大学芸術学部、muzz、エコハウス町家プロジェクト

# 竹器時代の幾何学？

# 未来人の生活？

# 冷たい数学？

人類の歴史において、石器時代や土器時代があったことはよく知られていますが、縄文土器をひっくり返してみると、底には見事に編まれた竹かごの跡が残っていることが多くあります。これは竹器が土器時代よりも前から存在していたことを示しています。

石器時代に発祥したとされる人類の文明はいつの間にか、のっぺりとした四角い建物ばかりがち並び、周期的なリズムで書かれた単調な音楽ばかりが聞こえてくる現代の都市を生み出すにいたりました。

この展覧会では、そんな現代文明を、石器と土器の影に隠れてしまった竹材を用いて問い直すことを試みます。

会場では、ある数学原理にもとづく多様な音楽や建築をひとつの空間に統合し、単に眺めるだけでなく、使うところまで想定します。およそ自然界に存在するもので、数学的に意味のないものなどないといついでしょう。私たち人間が、それに気づきさえせず見過ごしているだけです。

言い替えると、およそ数学的に有意義なもので、世界に実現しないものはありません。ですから今回展示される音楽や建築、都市計画は、いつの日かほんとうに実現するかもしれません。そこで営まれる生活は、より自然に近いあり方を呈するはずです。

1ヵ月という短い期間ですが、未来人の生活を先取りする気分楽しんでください。

登場する数学は、  
黄金比、  
フィボナッチ、  
ペンローズ・タイル、  
フラクタル幾何学。

冷たい数学かと思いきやさにあらず。

作品の構造的な面白さ以上に、その先には楽しくて暖かい、奥行きのある生活を見通せるのではないのでしょうか。

私たちは未だ竹器時代を生きているのかもしれませんが。

月の満ち欠けに合わせて、ささやかなイベントやワークショップも開催します。

## ワークショップ「星ぼっくり寺子屋」

数学が生み出す造形や音楽の魅力を紹介します。こどもから大人まで、難しいと敬遠されがちな数学が本来備えている「美しさ」を発見してみませんか？

**【申込方法】** 希望ワークショップ名・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

## 【野外授業】 8月1日(金)

※要申込 ① 11:00~12:00  
② 15:00~16:00

2メートルの竹30本を用いて竹の星籠を5人1組でつくります。完成した星籠は会期中展示します。

場所：星ぼっくり茶寮前(正面自動扉前)  
※屋外での作業になりますので、帽子などをご用意ください。  
定員：各10名(先着順)

## 【ホームルームの時間】 8月1日(金)

※申込不要 19:00~20:00

スライド  
幻燈レクチャー

スライドや実演を交えて紹介する、概論的な時間。

場所：和室「明倫」(南館4階)

定員：40名(先着順)

## 【音楽の時間】 8月2日(土)~29日(金)

※申込不要 18:00~20:00  
※7、16、23、30日はお休み

● ● ● ● ●  
フィボナッチ・ケチャック〜練習から演奏会まで竹を楽器にして、黄金比のリズムを毎夕練習します。

※月替りのイベントでは演奏会をします。  
※日替作品をめぐる、日替わりミニ講座もあり！

場所：和室「明倫」(南館4階)

※7、8、9日は南ギャラリーを会場に行います。  
※観覧参加も歓迎します。

## 【図工の時間】 ※すべて要申込

会場：和室「明倫」(南館4階)  
定員：20名  
参加費：500円(作ったものは持って帰れます)

「数学」が生み出す美しい造形を、自分の手で組み立ててみませんか？

はしかご むまがり  
「星籠：六勾納豆をつくる」

### ● 8月7日(木) 13:00~16:00

対象：小学生以上

30本の竹ひごを、仲間はずれがないように組み合わせた星籠は、どの方向へもまっすぐに納豆のわら状にたたむことができ、わずかな回転でパッと元の形に戻ります。

「ブレアデスをつくる」

### ○ 8月16日(土) 13:00~16:00

対象：中学生以上

ブレアデスとは〈すばる〉のこと。☆を6つ組み合わせることができる立体的なひとつの星。たたむことができ、わずかなショックでポンともとの形にもどります。

「フィボナッチ・タワーをつくる」

### ● 8月23日(土) 13:00~16:00

対象：小学生以上

植物の葉の付き方である「フィボナッチ葉序」の法則で、小さなタワーを組み立てます。

## 屋外展示「星ぼっくり茶寮」

植物が葉をつける法則「フィボナッチ葉序」に基づいた竹の茶室を建立。

席号を決めるにあたり、魯山人にちなむ「茶寮」が似合うのではとの示唆を松本夏樹氏から受けました。

靴を脱ぎ、にじり口より中に入ることができます。中央には囲炉裏があります。松ぼっくりを10個(もしくは¥200)お持ちいただければ、コーヒーをお楽しみいただけます。作家による自家焙煎コーヒー豆・松ぼっくりの炎でいれたエスプレッソを、お試しください。

場所：正面自動扉前  
時間：10:00~18:00(作家在室のみ)

## 「月をまつ」 18:00より、ゆるりと開始。

旧暦(太陰暦)で節目となる日の夕刻にお送りする、フィボナッチ・ケチャック演奏を聞きながら、月を待ち仰ぐ、ささやかな会。

演奏しながら館内を移動しているかも!?  
耳をすませて探してみてください。

- 8月7日(木) 旧暦の七夕  
場所：和室「明倫」(南館4階)
- 16日(土) お盆/満月  
場所：フリースペース(1階)
- 23日(土) 一ノ下弦の月  
場所：和室「明倫」(南館4階)
- 30日(土) 晦/新月  
場所：フリースペース(1階)



駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。地下鉄「四条駅」、阪急「烏丸駅」より徒歩5分。